



多勢の人でにぎわった鳥取三十二万石お城まつり



在宅障害者福祉の拠点施設「さわやか会館」



記念式典で演奏する清州市国楽団



緑に囲まれた鳥取環境大学キャンパス

私たちの

まちの家計簿

平成12年度の財政状況をお知らせします

平成十二年度は、「心豊かなまち」「明るいまち」「にぎわいのあるまち」をめざすべき都市像とした「第六次鳥取市総合計画」の最終年度として、計画に盛り込んだ重点事業の推進に努め、「鳥取環境大学の開学」「歴史博物館（やまびこ館）の開館」「ケーブルテレビ（いなばびよんびよんネット）を利用した行政情報の提供」などを実現しました。今回は、十二月議会で認定を受ける予定の「平成十二年度決算見込み」を中心に、鳥取市の財政状況を紹介します。

平成12年度決算見込み

一般会計667億円
特別会計395億円

一般会計・特別会計の決算見込みは表1のとおりです。前年度決算と比較すると、一般会計の歳入は二・〇％、

歳出は一・八％の増加、特別会計全体の歳入は一・〇％、歳出は八・九％の増加となっています。

特別会計の増加割合が大きくなっているのは、介護保険費特別会計が新設されたためです。なお、一般会計の歳入

・歳出の内訳は表2・3のとおりです。

市税は歳入の30%

市税は市の歳入全体に占める割合が約三〇％と最も高く、歳入の基本となるもので、行政サービスの貴重な財源として使われています。

平成十二年度の市税収入は、法人市民税は増加したものの、景気低迷に伴う給与水準の低下により個人市民税が減少するなど、依然として厳しい状況下であり、市税全体としては前年度比一・一％増の低い伸びにとどまりました。市税の内訳は表4のとおりです。